

温室効果ガス排出量 検証報告書

2026年3月23日

萩原電気ホールディングス株式会社 御中

一般社団法人日本能率協会
サステナビリティセンター
上級経営管理者 前田 雅彦



1. 検証の対象及び目的

萩原電気ホールディングス株式会社（以下「事業者」という。）が作成した算定対象^{*1}における温室効果ガス（GHG）排出量算定結果「2024年度算定報告書」（以下「算定報告書」という。）に記載の2024年度（2024年4月1日から2025年3月31日まで）の以下のGHG排出量情報に関して、事業者は、一般社団法人日本能率協会 サステナビリティセンター（以下「当協会」という。）に対し、限定的保証を目的とした検証を依頼した。

1) スコープ1 GHG 排出量

算定対象における都市ガス、LPG、ガソリン、軽油の使用に伴って直接的に排出されるCO₂排出量

2) スコープ2 GHG 排出量

算定対象における電力、熱の使用に伴って間接的に排出されるCO₂排出量

3) スコープ3 GHG 排出量

算定対象の事業活動におけるスコープ3 カテゴリ 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 9^{*2}において排出されるCO₂排出量

検証の目的は、事業者のGHG排出量情報が算定方法^{*3}に従って、正確に測定、算出されているかについて、独立の立場から結論を表明することである。算定報告書を作成しGHG排出量情報を報告する責任は事業者にあり、当協会の責任は、独立の立場から算定報告書に記載されたGHG排出量情報に対する結論を表明することにある。

2. 検証手続き

当協会は、ISO14064-3:2019 (Greenhouse gases Part 3: Specification with guidance for the verification and validation of greenhouse gas statements)の要求事項に従ってGHG排出量情報の検証を実施し、以下の事項を実施した。

- 算定報告書に記載のGHG排出量を決定するために用いられた情報に関する算定方法、算定体制、及び関連資料の確認を萩原電気ホールディングス株式会社本社訪問を含め実施
- 算定報告書の作成に関わる主な担当者へのインタビュー
- 萩原テクノソリューションズ株式会社本社への訪問による算定対象、データ収集手順確認、供給されたエネルギーのモニタリングポイントの現場視察、及び、萩原エンジニアリング株式会社へのアンケートにより算定データ、データ収集手順確認
- GHG排出量情報の正確性を確認するためのサンプリングによる根拠となる資料の確認

3. 検証の結論

算定報告書に記載された2024年度のGHG排出量情報は、算定方法に従って、すべての重要な点において正確に測定、算出されていないと認められるような事項は発見されなかった。

スコープ	検証された温室効果ガス 排出量 (t-CO2e)
スコープ1 ^{※4}	300
スコープ2 マーケット基準 ^{※5,6}	607
スコープ2 ロケーション基準 ^{※6}	944
スコープ3	629,752
スコープ3 内訳	
カテゴリ1	623,757
カテゴリ2	2,007
カテゴリ3	124
カテゴリ4	3,362
カテゴリ5	62
カテゴリ6	123
カテゴリ7	272
カテゴリ9	45
スコープ1,2,3 (上記の合計) マーケット基準	630,659
スコープ1,2,3 (上記の合計) ロケーション基準	630,996

NOTE:

※1：算定対象：萩原電気グループ

- ・萩原電気ホールディングス株式会社
- ・萩原エレクトロニクス株式会社
- ・萩原テクノソリューションズ株式会社
- ・萩原エンジニアリング株式会社 (スコープ1、2、スコープ3 カテゴリ1の間接調達のみ対象)
- ・萩原北都テクノ株式会社
- ・Hagiwara America, Inc.
- ・Hagiwara Electric Europe GmbH
- ・萩原電気香港有限公司
- ・萩原貿易 (上海) 有限公司
- ・萩原電子設備 (上海) 有限公司
- ・萩原電気韓国株式会社
- ・Singapore Hagiwara Pte. Ltd.
- ・Hagiwara Electric (Thailand) Co., Ltd.
- ・Hagiwara Electronics India Private Limited
- ・BELLADATI PTE.LTD. (スコープ3 カテゴリ1の間接調達のみ対象)
- ・Belladati 合同会社 (スコープ3 カテゴリ1の間接調達のみ対象)
- ・BELLADATI s.r.o. (スコープ3 カテゴリ1の間接調達のみ対象)

※2：スコープ3の各カテゴリの概要

- カテゴリ1（購入した製品・サービス）：原材料、部品、仕入商品、資材の調達、購入したサービスと主要な間接調達を対象
- カテゴリ2（資本財）：建設、購入した資本財（設備、機器、車両、ソフトウェア等）を対象
- カテゴリ3（スコープ1,2に含まれない燃料及びエネルギー関連活動）：使用した燃料、電力、熱を対象
なお、再エネ由来の電力を排出量ゼロで算定
- カテゴリ4（輸送、配送（上流））：調達・出荷輸送（国内・海外）を対象
- カテゴリ5（事業から出る廃棄物）：算定対象から出る産業廃棄物、一般廃棄物を対象
- カテゴリ6（出張）：従業員の公共交通機関利用による出張を対象
- カテゴリ7（雇用者の通勤）：従業員の所属拠点への通勤を対象
- カテゴリ9（輸送、配送（下流））：Hagiwara America, Inc.の物流拠点から顧客倉庫までの陸上輸送を対象

※3：スコープ1,2,3の算定方法

「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量算定に関する基本ガイドライン（ver.2.7）」、「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（ver.3.5）」、及び、事業者が作成した「2024年度算定手順書」

※4：国内の都市ガスの排出係数

ガス事業者別排出係数を使用

※5：電力の排出係数

国内：電気事業者・メニュー別基礎排出係数を使用

海外：「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（ver.3.5）」、「IGES List of Grid Emission Factors（ver.11.6）」を使用

※6：国内の熱の排出係数

熱事業者別排出係数を使用

以上